

●中山地区 まちづくり懇談会 質問事項と回答要旨と対応結果

	質問事項	回答要旨	行政に反映された事項及び対応結果
1	<p>川島町で生まれ育った子たちが教育を受け、社会へ巣立っていく中で、どれだけの職場環境が町内に備わっているのでしょうか。若者が見たときにそれが十分なのか、これが大切な視点だと思います。将来を見据えた中で、家庭を持って自活できるかとなった時に、家族を養っていける環境が備わっているのかどうか、今の若者にもなんとなくわかるのではないかと。そういうことから町外へ出て行ってしまうのではないかと思います。川島に目を向ける若者よりも、近くなら川越、または都内に目を向ける方が多く、そうなると通勤を考えても負担となります。圏央道、インターもできて、企業を誘致する際も、若者の目を引くような企業を誘致する努力も必要だと思います。</p>	<p>町にはインター産業団地ができており、それ以降の開発等も計画しております。ご意見を参考にさせていただきながら、進めていきたいと考えています。</p>	<p>新たな開発を進めるため平成24年度からまちづくり推進室を設置しました。インター周辺の更なる開発や都市計画法第34条第11号の指定に向けて手続きを進めています。</p>
2	<p>町長の話の中で、公約の③美しい景観・自然が守られるまちの中の「産廃施設阻止への取り組み」の説明が抜けていましたが、その理由を聞かせてください。</p>	<p>大意があったわけではありません。公約については、概要として説明させていただきました。今までどおりやっていきたいと思っておりますのでご理解をいただきたと思います。</p>	<p>中山地区に計画されていた、産業廃棄物処理施設設置許可書等については、平成24年1月19日付で埼玉県知事に取り下げられました。</p>
3	<p>予算の中で消防費が高い（歳出の8.3%）と思います。厳しい財政状況の中ですので努力して削減してほしいと思います。 また、町の広報紙で町内の企業を紹介、PRをして若い方へも浸透していけばいいのではと思います。</p>	<p>消防費の予算については、救急や消防団等に係る経費を合わせて川越地区消防組合負担金として474,000千円となっております。他には水防費で2,700千円、災害対策費で36,000千円の予算を組んでいます。消防行政でも経費の削減については、機械器具の更新等を先送りするなど、できることから努力はしているところです。また、川島の消防署に職員や車両を配置している中で、その経費を人口で割り返すと、町民一人当たりの恩恵は川越市と比較しても受けているとも考えられます。出る経費を抑える努力は引き続き行って対応していきたいと考えていますのでよろしくお願いたします。 広報紙での企業PRについては、実施できるか検討していきます。</p>	<p>かわじまインター産業団地の企業紹介を広報かわじままで実施しました。また、ホームページでも産業団地の紹介を行っております。</p>
4	<p>町内の若者へのアンケートを実施して意見を聞くのがいいかと思っています。</p>	<p>町では定期的に町民アンケートを実施し、年代別に集計するなど、参考にしております。また、町職員にも若手職員を対象にしたアンケートを実施したり、定住に向けたアイデアの募集をしたりして検討をしているところです。</p>	<p>3年に一度、住民意識調査を実施しています。また、毎年、若者座談会を実施し若者の意見を聞きながら政策に反映できるよう努めています。</p>

	質問事項	回答要旨	行政に反映された事項及び対応結果
5	<p>川島町で一番心配なのは水害です。今回の震災で「想定外」という言葉をよく聞きますが、町としてはどれだけの降雨量を想定しているのでしょうか。</p> <p>また、計画停電によって水道が止まりましたが、ライフラインの考え方を聞かせてください。また、町の避難所を見ると収容能力が少なく、高さも低いので、高さや収容能力のある避難所が必要だと思えます。</p>	<p>川島町のハザードマップをお配りしてるところですが、こちらは24時間総雨量で301mm（荒川水系市野川）を想定雨量としています。また、荒川水系荒川及び入間川流域が氾濫をきたすであろう大雨は3日間で548mmを想定しています。市野川は100年に1回、荒川は200年に1回程度起こる大雨を想定してるわけですが、それも考えて、避難場所が低層である問題も含めた地域防災計画の見直しを行うところです。なお、産業団地には高い建物が多くありますので、一時的な避難所として提携できないか相談していきたくとも考えています。役場の庁舎についても、老朽化が進み、新庁舎建設の検討を実施していますので、災害といった面も加えて検討していきたくとも思います。</p> <p>また、停電になって水道が止まってしまったことについてですが、町に発電機はあるのですが、当時は継続的に燃料が入らず、断水となってしまいました。大変申し訳ありませんでした。</p>	<p>平成24年度予算で洪水ハザードマップに対応する被害想定調査を実施し、浸水被害想定に基づいた避難指示が出せるように対応します。</p> <p>また、川島インター周辺部へ住民の避難ができるようNEXCO東日本株式会社へ協力を依頼しました。</p> <p>なお、平成24年度に発足する川島インター産業団地工業会に洪水避難ビル指定の説明を行うとともに協力を要請します。</p>
6	<p>大雨が発生したとき避難所へ避難するまでに被害にあった例もあるようですが、川島町は水害の危険性がある土地柄だと、こういう土地に我々は住んでいるんだと意識を高めて、自分のことは自分で守るんだという啓発をしっかりとしていくことが一番の防災につながるのではないのでしょうか。</p>	<p>おっしゃるとおりだと思います。貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>町では防災カードという取り組みを行っておりまして、災害時に助けが必要な要援護者の把握に努め、避難体制の仕組みづくりに努めています。</p>	<p>町では、毎年防災カード登録制度の周知を行っており、平成23年度に登録をいただいた方は940名です。また、町ではこの防災カードを整理し災害時要援護者台帳を作成しております。</p> <p>この台帳をもとに、各地区区長と民生委員さんが登録者宅を訪問し、災害時の支援内容等を確認しております。</p> <p>なお、平成24年度の防災カード登録者は960名です。</p>
7	<p>計画停電時の危機管理について、停電で信号機がストップしたときに誰も交通整理に配置されていなかったのですが、体制について伺います。</p>	<p>各小学校では計画停電によって信号機が止まる通学の時間帯には父兄の方々に協力をいただきました。また、主要道路（国道254号）については、警察の所管で対応していただきました。広域の停電ですので、なかなか警察も手が回らなかったのですが、警察署に確認したところ、みなさんが慎重に安全運転を心がけていたことから大事故につながるものは少なかったようです。</p>	<p>学校では、保護者が帰宅困難者となって、児童・生徒の引取りが困難となった場合を想定した災害時のマニュアルを作成しルール化を図ることになりましたが、川島町地域防災計画の見直しに当たっては、交通安全対策についても地域防災計画の修正に合わせて対応します。</p>
8	<p>防災カードの活用についてですが、個人情報という中で、地域にもよるかと思いますが、なかなか情報が流れていないように思います。届出のあった方の情報は区長や地域に流れているのでしょうか。情報を集めるだけでなく、しっかり活用していただければと思います。</p>	<p>防災カードの申し込みがあった場合は、聞き取りをして登録を行い、民生委員さんと情報を共有して対応しています。</p> <p>伊草地区では班の会議で了解をとって、班長さんは要援護者を把握していた方がよいと取り決めをして情報管理をしているようです。</p>	<p>平成23年7月23日付け、川島町情報公開及び個人情報保護審議会から「災害時要援護者台帳に係る個人情報の利用について」答申があり、区長が管理する要援護者台帳の個人情報を配下の班長に提供する際の基準が示され、情報の共有化を図ることができました。</p>

	質問事項	回答要旨	行政に反映された事項及び対応結果
9	震災時に、中山小学校でも連絡が取れなくなり子どもの状況が全くわかりませんでした。保護者の方が小学校へ来て急遽引き渡しとなりましたが、それを知らない保護者は学校へも連絡が取れずに混乱を招きました。防犯の組織もありますが、それは電話での連絡が基本ですので、今回のような場合の手段として、防災無線を活用することなどはできないのでしょうか。	避難訓練は各学校で何度も行っており、震災時にも訓練に基づいてけが人なく対応できたのですが、お話にあったとおり、その後の子供たちの保護者への引き渡しという部分では行き違い等がありました。防災無線を活用するのも難しい面がありまして、他の学校ではある一定の地震が発生した場合、連絡が取れなくても保護者の方に学校へ来ていただくという取り決めをしているところもあります。しかし、電話も使えなく、迎えにも行けないという場合もありますので、親戚、知人等が近くにいらっしゃる場合は学校へ迎えに行っていただくとか、PTAや学校と事前に十分調整して対応できるようしていきたいと考えています。大きな課題として防災計画にも盛り込んでいきたいと思えます。	<p><教育総務課> 児童の引渡しについて、各学校で避難マニュアルの見直しを行い、訓練をしました。 全小・中学校に電子メールによる一斉送信システムを導入し、緊急時の連絡手段として活用できるようにしました。平成24年3月に運用を開始しています。</p> <p><総務課> 学校では、保護者が帰宅困難者となって、児童・生徒の引取りが困難となった場合を想定した災害時のマニュアルを作成しルール化を図ることになりました。川島町地域防災計画の見直しに当たっては、帰宅困難者への対策に合わせて、計画を修正いたします。</p>
10	防犯パトロールの旗が傷んでいて、町にお願いしているが、その対応はいかがでしょうか。	コミュニティ活動の助成事業として、3か年に限り助成を行っております。各地区の自主防犯組織には助成をして旗やチョッキ等を買っていただいておりますが、のぼり旗は劣化が激しいようですので、ご要望を踏まえ、対応していきたいと考えています。	町では、平成23年度補正予算で、のぼり旗4000枚を購入いたしました。各地区の自主防犯組織で劣化の激しい旗があった場合には、随時支給しております。

●伊草地区 まちづくり懇談会 質問事項と回答要旨と対応結果

	質問事項	回答要旨	行政に反映された事項及び対応結果
1	<p>歳出の教育費について、学校教育費と社会教育費はどのようになっていますか。</p> <p>また、社会教育については、公民館活動が盛んになり、お年寄りだけでなく若者が実際に出来るような趣味・生活相談等が行えるようになれば、コミュニティ作りにもなるのではないのでしょうか。仲間作りができると近所にいてよかったですと思え、若者の人口減少にもつながるのではないのでしょうか。</p> <p>町に住んでいて良かったと思えるためには、地域での交流を深めるのが大切であり、そのためには社会教育費や公民館活動等は地域に即したものであるべきだと思います。</p>	<p>社会教育費は1億4600万程度。プラス保健体育費1億2800万、その他幼稚園等に7300万、義務教育費に3000万程度です。</p> <p>社会教育は、大変重要なものであると考えております。公民館としても新しい事業を取り入れることが必要であるとも思っており、そのための支援を行います。また、若い人がいないのは、子育てを応援する人がいないのが原因ではないかとの意見もありまして、行政の子育て支援であれば保育所等でも実施してありますが、公民館等で活動できる事業であれば、取り組んでもらいたいと考えております。</p> <p>もう一つは、川島町はどちらかといえば、親子揃って向学心が強い町民ではないかと思っています。ですから、大学や専門学校で得た知識や技術が活かせる企業が、地元にないため転出してしまうこともあります。社会教育の中で、講習会や研修会に出てもらうことも大切であると考えております。</p>	<p><生涯学習課></p> <p>各地区で実施している地域子ども教室については、公民館の積極的な協力を得て、各くらぶ特色を持った活動を活発に展開しています。公民館事業につきましては、様々な世代が参加できるよう、たくさんの事業を実施しています。今後も、地域の交流が図れるものや、若い方が興味を持たれるような事業を検討し、取り組んでいきます。</p> <p><政策推進課></p> <p>平成24年度予算には、コミュニティ事業の充実を図るため、自主防犯団体や花いっぱい運動団体、自治会などの支援を強化しました。</p>
2	<p>今回の統一テーマは、1つの問題の切り口を3つに分けたような形であると思いますが、人口を増やす方法としては、通勤圏であるかどうかが一番大事であると思います。都会まで、1時間から1時間半くらいの通勤圏の範囲にどうやっていれていくかが大切だと思います。定住を進めるには、2つの課題があると考えます。1つ目は、どうしたら公共交通機関で通勤圏になるか。2つ目は町内の職場の増加。インター等で企業誘致やショッピングモールもできたので、これからは町内住民優先に雇用する事を条件に、誘致を進めるようにしたらどうでしょうか。空気も良いし、若者も戻ってくるのではないのでしょうか。まずは、焦点を絞って1つずつ取り組むことが大切であると思います。</p>	<p>定住を進める上で、公共交通が1番の問題であると考えておりますが、我々の力だけでは難しいので、国や県の力を借り、近隣の市町村等とも調整し検討していきたいと思っております。</p> <p>雇用では、大学や専門学校を出てもなかなか就職先がないという事もあると聞き、その人が戻ってこれるようPRをもっとしていきたいと思っております。日立物流等でも、かなりの人数の雇用が予定されていて、町内の人を雇用してもらえるようお願いしているところです。また、広報紙等にも雇用情報を掲載していきたいと思っております。また何かあれば、お話ししていただければと思っております。</p>	<p>職員による地域公共交通対策プロジェクトチームを立ち上げ民間バス路線や「ぐるっと川島」を含め、総合的な町内の公共交通の検討を23年度から開始しました。平成24年度には、町民の方々やバス利用者の意見を把握するため埼玉大学と共同研究によりアンケート調査による現状の分析を実施します。また、雇用情報は、町ホームページに町内企業の情報が得られるように企業との連携を実施しています。</p>
3	<p>公共交通の不足が定住促進の課題というのなら、例えば川島から池袋までの直通バスを走らせるとか、水上交通（水上バス）で、越辺川から東京湾までを繋ぐのもどうでしょうか。いろいろと問題はありますが、江戸時代はお米などを川を使い運んでいたわけであり、川島町は川に囲まれているので、その川を利用した方が良い状況にあるのではと思うが、いかがでしょうか。</p>	<p>水上バスで荒川まで出れば良いのでしょうか、昔と違い川の水も不安定な状況でありますので、その辺が考えるところですが、川の交通も考える余地はあると思っております。また、県も川の再生事業等を行っているので、またよく相談して考えさせていただきます。</p>	<p>直通バスなどの公共交通については、地域公共交通対策プロジェクトチームや地域公共交通対策会議で研究します。</p>
4	<p>町の職員や関係機関の職員について、川島町在住者と町外の人との比率はどのくらいなのでしょう。その辺をある程度増やすと世帯数も増え、良いのではないのでしょうか。また、役場が率先して、新規職員を町内から採るとい、公平な試験だけではなく、町内は優先というのも考えていくべきではないのでしょうか。</p>	<p>町職員は、約180名おります。そのうち、町内が120名・町外が60名です。シルバー・社協等は管理していません。</p>	<p>平成24年度の職員数は181名です。その内、町内在住の職員は119名となっています。なお、平成24年度の新規採用者は8名で、町内からの採用者は4名でした。</p>

	質問事項	回答要旨	行政に反映された事項及び対応結果
5	町から都内に行くのがネックであり、苦勞しております。長男だからという理由でそういう不便さを何とかしています。バスも遅くまでありますが、朝はそんなになくて、1番のネックであると考えます。	答え方も難しいのですが、気持ちは受け取らせていただきます。特に伊草地区の近辺はバスも集中しており、良いとは思いますが、川越の菅間地区などが開発され新しい住宅が建っており、川越と川島では足りないものがあるのかという疑問があり、考えていかなければいけないと思っております。	地域公共交通対策プロジェクトチームや地域公共交通対策会議で研究します。
6	公民館を運営している中で、駐車場が狭いので苦勞をしています。出来れば早く駐車場の確保をしていただければと思います。また、別の場所に移すという考えもあるのではないのでしょうか。先日の地震により、公民館も多少入口にひびが入りタイルも剥がれていくという所もありますので、建て替えはいかがでしょうか。	公民館はどこもかなり古く、現在耐震診断中であり、伊草地区は24年度に行く予定であります。地震の被害等も含め、整備についてよく検討していきたいと思っております。また、駐車場については、近くに空地があれば検討していきたいと思っております。お互いに理解をしあい、地域の皆様にもご協力をいただきたく思っております。	<生涯学習課> 耐震診断調査の終了後に、各公民館の診断結果を総合的に判断し、優先順位を付け、敷地等の問題も含めて整備計画を策定します。 <政策推進課> 平成24年度に伊草公民館と小見野公民館の耐震診断を実施します。
7	懇談会に来ている方が、ある程度の年齢であるので、このテーマは無理があると思いますが、価値観の多様化・携帯電話・ゲームなどで子どもたちのコミュニティの輪が小さくなっていると思われれます。親たちには、川島町に対してマイナス思考の発言を控えるような教育をし、この町に育って良かったと子どもたちに伝えてもらいたいです。また、子どもたちは、秋に留学体験等もあるようですが、町を離れるような誘惑に負けない、芯の据わった人の生きる道を考えられるような教育を子どもたちにする必要があるのでないでしょうか。	町をいつも愛する気持ちを持っていただきありがとうございます。また、地域の子どもは地域で育てるという気持ちを持っていただいているということで、公民館でも子どものための行事を行っていただいております。各地区ごとに地域子ども教室等も行っており、ある地区では子どもに対して半数以上の親も参加し、1日かけて行事や遊びを通して地域で地域の人々が一生懸命子どもを育てております。しかし、交通機関の問題で子どもが町から出て行ってしまわないかと思われれます。しかしながら、地域の人々が子どもを育てていただいていることに、教育委員会も感謝をしております。今後ともよろしく願いたします。	各地区の公民館や地域子ども教室で、様々な事業を活発に展開していただいています。また、親子で参加できる講座を増やしていきます。
8	価値観の多様性により、子どものコミュニティの輪が分断され、いろんな政策を行う際に対象となる人が、少数になっているのではないだろうかと思えます。お金のかからない政策は、どんどんトライし、努力いただきたいと思えます。	お金がかかる、かからない等があるとは思いますが、長い目で見て少しずつでも政策に取り組んでいきたいと思っております。	職員も色々な情報を基に事業展開を検討し実施計画に反映させるよう努力してまいります。
9	他の市では大きな病院もあり、川島町が淋しく感じられます。町外の病院まで通うのに時間がかかるし、あると便利だなという事で意見を言わせていただきました。	あと、交通弱者が大きな問題であるとは思いますが、そういうところを地域で賄えれば良いが、関係機関と勉強させていただきたく思っております。	地域支え合い事業として、高齢者の買い物支援等ができる仕組みづくりを行うため社会福祉協議会、商工会、コミュニティ協議会と連携した協議を進めています。

	質問事項	回答要旨	行政に反映された事項及び対応結果
10	震災の影響により、震災の本部が流出した所が多いと聞きますが、川島町も役場の老朽化や水害に見舞われる可能性が高いと思われます。災害本部の拠点が無くなるのは大変なことです。新庁舎の計画等についてはどのようにお考えでしょうか。	今回の地震により、役場も梁に亀裂等の被害がありました。また、すでに55年近くたっており、ここ3年ほど前から、委員会・耐震結果・皆さんの意見等を受けて、立て直す方向であります。しかし、当初の考え方とすれば、そんなに強度の件は考えておりませんでした。震災の影響できちんと対応しなければならないと考えており、水害も含めて検討し、早い時期に立て替えを行いたいという考えであります。また、場所については平成20年に行った町民アンケートにおきまして、43%が今の所に建てるべきという結果でありました。今年も8月に町民意識調査を行います。そして、経費があまりかからないように、検討していきたいと思っております。	平成24年度基本構想を基とした基本計画を策定します。基本計画では、規模、位置を明確にまいります。また、新たに公募委員を加えた新庁舎建設検討委員会を再編し、会議録も随時公開し広く意見を聴取してまいります。合わせてまちづくり懇談会でも意見を聴取して検討委員会に反映させていきます。
11	高齢化の中で災害が起こった際に、自分たちの避難所を確認するためのマップ等を作ってください、いざ災害等が起こった際に、各自が避難できるようにと思うのですが、どのようにお考えでしょうか。	今年9月4日に伊草地区で防災訓練が行われますが、地域の災害弱者をどのように支援するか、というのがテーマとなっております。町でも、災害時の支援という事で防災カードを作っておりますが、個人情報という点で、なかなか広がっていかないというのが現状であります。しかし、災害時には近くの人が確認して対応してもらいたいと思っております。要援護者の個人情報の取り扱いについては、現在、情報公開及び個人情報保護審議会で審議いただいておりますが、災害が起こった場合には、第1次避難所に区長さんが集まり、各施設で点呼を行い誘導していただきたいと思っております。水害では特に早く避難をしなければならないと思っておりますので、震災の場合と水害の場合とで考えていきたいと思っております。また、防災訓練においては、民生委員さんにも協力を仰いで、皆さん自身がシュミレーションをやっていただければと思っております。そして、役場の若い職員に集会所等に行ってもらい、区長さんの指示を仰いで情報を収集してもらいたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。もう1点、避難内容についてですが、川島町は水害の多い町であり、水害について考えなければなりません。今後は、徹底的に周知をし、自分たちが災害の際にどこに行ったら良いのかを確認しておくということをPRしていきたいと思っております。	9月4日、伊草地区を対象に実施した川島町防災訓練では、避難参集訓練に合わせて、地区内のすべての家庭を対象に安否確認を実施しました。また、防災カードに登録いただいた要援護者の皆さんの安否も、同時に確認いたしました。また、訓練では安全に指定避難所へ行けるよう避難経路の確認も行いました。平成24年度に実施する防災訓練でも、災害に備えた、全戸での安否確認や指定避難所までの避難経路の確認等の訓練を実施いたします。なお、水害時の避難経路については、地域防災計画の修正に合わせ、洪水時の被害想定調査を実施しますので、調査結果を基に検討いたします。
12	川が決壊した際に、情報収集のためのゴムボート等の用意はできているのでしょうか。	三保谷に1台船があり、消防署にはエンジン付きのものを1台用意しております。しかし、救援には使えますが、情報収集には使えません。今後は、水上移動できるものを配備することも考えていきたいと思っております。	平成24年度予算で救命ボート2艘購入いたします。

	質問事項	回答要旨	行政に反映された事項及び対応結果
13	<p>防災カードと安全カードは、なぜ2本だてなのでしょう か。2つあれば片方がやってくれるという考えが生まれて しまいます。</p> <p>また、ハザードマップについてですが、伊草地区の避難 所は伊草小のみであり、伊草の人口から考えても1つでい いのでしょうか。避難所のトイレについても、町は何を考 えているのでしょうか。例えば、山小屋にあるようなパイ オのトイレ等を考えてみたり、避難所においては予めトイレ 数を増やす・仮設トイレを用意するなどした方が良いの ではないでしょうか。</p> <p>そして、定住面については、東京に行くために川越から 行くには時間が読めないで、若葉の駅を利用している人 が多いと思いますが、町に定住する人の若葉駅等の駐車場 料金を町で負担するというのはいかがでしょうか。(提案 のみ)</p> <p>防災カ ードと安全カードの一元管理・情報開示等非常時の状況を考 えて、町で後で検討していただきたいと思ひます。</p>	<p>防災カードについては、民生委員さんと情報の共有をして おりますので、その点ではご安心してください。情報の共有化を 今後も積極的に行っていきたいと思ひております。</p> <p>また、今回の伊草で行われる防災訓練では、仮設トイレの展示 も行います。仮設トイレについては、衛生面も大切ですので対 応していきたいと思ひております。</p>	<p>平成23年7月23日付け、川島町情報公開及び個人情報 保護審議会から「災害時要援護者台帳に係る個人情報の 利用について」答申があり、区長が管理する要援護者台帳 の個人情報を配下の班長に提供する際の基準が示され、情 報の共有化を図ることができました。</p> <p>また、災害用備品の購入に当たっては、乳幼児や高齢 者、障害者等にも配慮した備蓄品の計画的な購入を進めて おります。</p>
14	<p>上伊草の堤防の下にある出丸用水は、安全性の確認等 をしているのでしょうか。不安視する声もあり、河川法の下 では20m以内に建物等を建てるのは禁止されております が、そこに堀があるために例外となっています。可能であ れば、出丸用水の水路を他に流れ込むようにしてほしいと 思ひます。</p> <p>また、インター南側の開発も進み、町の税収が上がると 思ひますが、定住促進策として新築経費一部を助成金出す 等地域の意見もありますが、いかがでしょうか。</p>	<p>出丸用水については、町でも堤防下に新たに道路を作るとい う計画をしております。同時に出丸用水の移設も検討していま すが、坂戸市分の白金工業さんは同意していただきましたが、 坂戸市からは財政上難しいという回答がきております。今後 も、坂戸市と協議を続けて参りますので、何かありましたらご 協力をお願いいたします。</p> <p>また、転入者に対する税制面の優遇措置についても検討して おります。</p>	<p>坂戸市と協議を継続中です。</p>

●三保谷地区 まちづくり懇談会 質問事項と回答要旨と対応結果と対応結果

	質問事項	回答要旨	行政に反映された事項及び対応結果
1	<p>リーディングプロジェクトの3番、生活基盤充実プロジェクトの関連で平沼バス停付近に放置自転車が個人の敷地に3台から7台くらいあり、地権者の方が大変困っています。</p> <p>鴻巣県道の上八ツ林に県の管轄と思いますが、新しい駐輪場ができました。</p> <p>平沼にもそうした駐輪場の案があるかどうか教えてください。</p>	<p>上八ツ林の駐輪場の底地はほぼ町の土地で県で整備を行いました。</p> <p>あとは小見野の諏訪神社のところにあります。ほかに下伊草の落合橋の下に防火水槽がありますが、その上に駐輪場を作っています。</p> <p>全ての場所に駐輪場を設けるのも難しいですし、用地の問題もあります。</p> <p>バス停近くの方で有料で自転車の受け入れをしてくれる人もいますが、用地の部分を調整しながら現地を確認して回答させていただきます。</p>	<p>平成24年度当初予算にバス停の屋根を設置する事業費を措置しました。東武ウエストと協議を進めます。また、自転車置き場については、バス停の屋根設置検討に合わせて地域公共交通プロジェクトチームで検討します。</p>
2	<p>三保谷地区においては子どもの減少が非常に激しくなっています。独身の時は親元から通勤し、結婚すると町外に家を持つというパターンが多く見られます。</p> <p>254バイパスの東側では若い人が定住しない理由は単に通勤困難というだけの問題ではないと思います。</p> <p>そうした中で子育て支援を手厚くしていただけないものかと、例えば伊草地区では学童保育などあります。結婚したら町外に住むというのは生活環境の不便さもあろうかと思えます。</p> <p>伊草地区にはベイシアを中心とした大型商業施設もあります。</p> <p>子育て支援はここに住んでいればこういうメリットがありますよというものを作ってもらえれば定住が図れるのではないのでしょうか。</p>	<p>子育て支援にもいろいろありますが、金銭的な支援については他の市町村と比較してもそんなに引けを取らないと思います。</p> <p>学童保育についてはすでに調査を行い、市街化調整区域の中で20人ほど利用したいという方がおりますので、早急に検討してまいります。</p>	<p>平成24年度4月から川島幼稚園の一室を利用し三保谷、出丸、八ッ保、小見野小学校の児童を対象にした学童保育が開始されました。</p>

	質問事項	回答要旨	行政に反映された事項及び対応結果
3	<p>市街化調整区域には開発に制限があります。土地はたくさんあるわけですから白地地区の開発がしやすい環境作りをお願いします。</p> <p>妻帯者が100坪程度の広い家を持ち、家庭菜園ができ、静かな環境で子育てができるような状況を作っていけばインター周辺企業に勤める方も土地が安いわけですから購入を希望する方もいるのではないのでしょうか。</p> <p>ただ自然に任せているだけではこういう地域の子どもは減っていくわけですから、目的をもった施策が必要と考えます。</p>	<p>調整区域の開発については現在検討している最中です。</p> <p>都市計画法の見直しをかけていかなければならないわけですが、むやみに家を作るというわけにもいかず、道路や排水路といったものも整備していかなければなりません。</p> <p>町ではそういう場所を探しているところで、地域のみなさんにもご理解ご協力をいただかないとできないものです。</p> <p>開発しやすい区域は、学校を中心とした半径500m以内という条件がありますので、その中で候補地を探しております。</p> <p>いくつかの候補地ができましたら皆様にもご相談させていただきます。</p>	<p>都市計画法第34条第11号について、都市計画法上、農地法等、関係機関と協議を続けてまいります。</p>
4	<p>三保谷小は82名で6校のうち一番少ない状況で、このままだと経費節減などで統廃合といったことも懸念されます。</p> <p>議員定数も削減されましたが、なんでも減らせばいいという考えだと町がさびれてしまいます。</p> <p>活性化するには大胆な政策が必要ではないでしょうか。</p>	<p>議員の定数削減については皆様方からの声が議員さんに届いて議会から提案されたものです。</p> <p>私個人としては幅広く意見を出すという意味では減らしすぎるのはいかがかなと思います。</p> <p>学校の問題については、合併をする前に何かできないかということを考えていて、リーディングプロジェクトの中で都市計画法の活用により定住促進を進めることが先で、どうしてもできないときは、その時考えるということで進めています。</p> <p>皆様方の総意の中でそういう地域が指定できるのであればと思います。</p>	<p>平成24年度から、川島町学校規模適正化研究会を設置し、調査・研究を進めます。平成23年度では必要な予算措置と有識者による準備会議を2回開催しました。</p>

●出丸地区 まちづくり懇談会 質問事項と回答要旨と対応結果

	質問事項	回答要旨	行政に反映された事項及び対応結果
1	<p>中学校まで通学に良い環境だと思えますが、高校、大学などの遠距離の通学に不安を感じます。実際、夜間の町内はとても暗いです。街灯の整備が必要だと思えます。また、駅などへの送迎をしている親も多いことから、駅周辺の駐輪場、駐車場について、行政として補助など検討していただければと思います。</p>	<p>通学については、町内、町外に関係することです。さまざまな意見を参考に検討し、町内でできることを対応したいと思えます。駐車場、駐輪場の支援については、学費の助成などを、教育委員会で検討したいと思います。公共交通については、現在、人口が減少していることから要望どおりにならないのが現状です。公共交通のありかたについても、今後も検討していきたいと思えます。</p>	<p>地域公共交通対策プロジェクトチームを立ち上げ検討を進めています。また、平成24年度は埼玉大学と共同研究によりアンケート調査と分析を進めます。</p>
2	<p>高齢者世帯が増加し、その子どもたちが戻ってこないことで、空家が増えています。雑草の問題など、空家住宅の活用を早急にお願いします。</p>	<p>空家住宅については、昨年から問題になっており、実際増加しています。治安の悪化にもつながることから、地域のかたにご協力をいただき、町としても状況の把握を考えています。活用方法も今後検討していきたいと思えます。</p> <p>農業委員会、JAと協力し、どのような形で空家バンクを立ち上げたらよいか、協議を進めていきたいと思えます。</p>	<p>空き家バンク制度により、町内の居住可能な家屋・売買の可能な家屋を確認中。権利者（所有者）の確認を取り、ホームページなどへ公表できるよう進めています。</p>
3	<p>現在、ゆとり教育で週5日制です。土曜日に、小・中学生を対象とした思い出になるような事業（地域の高齢者とのふれあいなど）の実施をお願いします。</p>	<p>地域子ども教室は地域の教育力の向上を目的に町内6地区それぞれで実施されています。教室の運営は主に地域のボランティアのかたが行っています。年間12回（月1回）、日曜日等に実施しています。年々、参加者、ボランティアの数は増加していますので、今後も、さまざまご提案をいただき、事業に反映させていければと思います。</p>	<p>地域子ども教室については、地域の高齢者も含めて、多くのボランティアの協力を得て、地域に根付いた事業として年々活発さを増しており、それぞれ特徴を持った活動を展開し、子どもたちに喜ばれています。（出丸地区は日曜日、その他の地区は土曜日を中心に開催）。そのほかにキッズプラザ（お雛様とたき火でやきいもを楽しもう）、ジュニア卓球教室、クリスマス子どもの集いなどを実施しています。</p>
4	<p>リーディングプロジェクトのメンバーはどのようなかたですか？ぜひ、さまざまなかたが参加したほうが良いと思えます。</p>	<p>現在、役場内職員が定住促進のための施策を提案し、重点施策として各課の職員が中心となり定住促進に繋がるのかを検討しています。委員会などは設置していませんが、今後、必要に応じて住民のかたや専門家など外部のかたによる委員会の設置なども考えていきます。</p>	<p>リーディングプロジェクトに係る施策は、優先的に予算を配分して事業推進を行っています。また、総合振興計画の実施計画で毎年、事業を検討して定住促進に繋がる施策の事業化を図ります。</p>
5	<p>巡回バスは本数が少なく利用しにくい状況です。バス停留所へ乗り入れなども検討してほしいと思えます。リーディングプロジェクトの達成には、交通アクセスの改善が最重要だと思えます。リーディングプロジェクトの①定住促進、②交流・転入促進、③生活基盤充実を進めるための町の考えを聞かせてください。</p>	<p>リーディングプロジェクトはスタートしたばかりです。今後、さまざまな意見をいただければと思います。交通アクセスの改善については、今後も模索していきたいと思えます。巡回バスについては、いくつかのバス停留所に乗り入れはしていますが、利用者のために見直しも必要だと思えます。なお、医療機関や買い物に行きたい交通弱者を送迎するデマンド交通については、近隣の市・町が実施しています。実施方法や料金設定なども検討し、町として交通弱者を救済していきたいと思えます。なお、地域活動の1つとして交通弱者を助けることも可能です。そのような取り組みがあれば、町としても支援していきたいと思えます。</p>	<p>地域公共交通対策プロジェクトチームを立ち上げ検討を進めています。また、平成24年度は埼玉大学と共同研究によりアンケート調査と分析を進めます。そうした中で、町の地域公共交通の再編を進めます。</p>

	質問事項	回答要旨	行政に反映された事項及び対応結果
6	平成22年度は町内で交通事故が多発していますが、事故の当事者が町民なのか、町外のかたなのかによって対策が異なると思うのですがどうですか。	交通事故は、町民のかたも犠牲になっています。町民のかたに限らず、すべてのかたが交通ルールを守り、十分に注意する必要があるのではないのでしょうか。	平成24年度に「交差点ハザードマップ」を作成し、広く危険な交差点に対する注意をいただけるよう対応します。
7	町長の公約である「教育の改革」①幼保一体化の推進②学校規模の適正化③教育特区などによる、授業や部活動の合同実施④青少年の交流の強化についての説明をお願いします。	<p>幼保一体化の推進については、今年度、川島幼稚園の入園者は35人と減少しています。入園者が減少した原因の調査を現在、実施しており、その結果に基づき保育時間なども対応していきたいと思います。なお、国では幼稚園、保育園の機能を持った総合施設が望ましいとしています。</p> <p>学校規模の適正化については、各小学校の児童数は減少しています。競争する心も大切です。学校を統合し、送迎などを希望する保護者の意見もお聞きしています。地域文化の中心である小学校を統合するのは困難だと思います。文部科学省による適正規模（1学年2学級以上）は目標になると思います。</p> <p>授業や部活動の合同実施については、中学校の生徒数が減少し、希望する部活動ができないとの声も聞きます。町内2中学校で、部活動の合同練習の実施などを考えています。</p> <p>青少年の交流の強化については、昨年度から、北海道の沼田町との交流もスタートしました。また、これまでどおり、オーストラリアとの国際交流も継続実施していきます。子どもたちには、さまざまな交流を通して、さまざまな体験学習をしていただきたいと考えています。</p> <p>幼保一元化について、国では認定子ども園と呼んでいます。群馬県では、国の指導の下、幼稚園と保育園が同一の建物内にある施設を平成17年にテスト的に実施したことがあります。町内の施設設備の面で困難なところがありますが、そのような施設は理想だと思います。なお、女性の社会進出の増加により、保育時間の延長は社会ニーズであり、そのことが、幼稚園の園児数減少の原因の1つだと考えています。学校規模については、地理的条件など、地域の実態に合わせるべきだと思います。なお、現在町内の2中学校とも、男子4、女子3の部活動しかないことから、希望の部活動ができないという話も聞いております。</p>	<p><教育総務課></p> <p>①8月に未就学児の保護者を対象に、川島幼稚園の運営に関わるアンケート調査を実施し、保護者のニーズと課題を整理しました。その結果、午後4時30分までの預かり保育と保育園との職員の人事交流を平成24年度に実施することにしました。なお、幼保一元化、一体化については具体的な検討をしていない状況です。</p> <p>②平成24年度から川島町学校規模適正化研究会を設置し、調査・研究を進めるため、平成23年度では必要な予算措置と有識者による準備会議を2回開催しました。</p> <p>③まずは、校外行事の合同実施を進めていくこととし、校長会や教頭会で指示しました。平成24年度から、複数校（三保谷小と出丸小、ハツ保小と小見野小）で合同実施する計画になっています。</p> <p><生涯学習課></p> <p>青少年交流事業について、平成23年度は北海道沼田町の子どもたちが2泊3日で来町し、川島町の子どもたちと交流を深めました。</p>
8	①川にきれいな水を流すために町が推進している合併浄化槽に協力している家庭も多くあります。しかし、排水路が汚れては意味がないと思います。が、台風などの集中豪雨の際にも関係すると思いますが、排水路に対する町の考えを聞かせてください。②合併浄化槽の耐用年数を教えてください。	<p>排水路の整備については、今後、国、町が協力し、横塚川や排水路の整備を実施していきたいです。また、その際には地域の皆さんもぜひご協力いただきたいです。</p> <p>合併浄化槽については、日ごろから、適正な管理をすることで、長い期間使用することができます。</p>	②合併処理浄化槽設置補助内容を見直すとともに、引き続き設置補助制度により設置100%を目標に事業を推進します。また、合併処理浄化槽の適正な維持管理の促進のため、維持管理に関する補助制度を平成24年度より実施します。

	質問事項	回答要旨	行政に反映された事項及び対応結果
9	東日本大地震による福島第1原子力発電所の事故による放射能汚染が問題になっています。県内農産物などに対する検査状況を教えてください。	埼玉県では放射性量に対する調査をこれまでに農産物については、14回、原乳については、10回（6月24日時点）実施しています。これまでの検査では、放射性ヨウ素、放射性セシウムについて暫定規制値以下でした。近隣市町での検査結果では、基準の500以下で、問題のない数値と聞いています。埼玉県が毎日検査結果をホームページに掲載しているの、ご確認ください。	埼玉県と連携のもと、当町では、米など「①コシヒカリ・②彩のかがやき）・③もみ殻・④稲わら・⑤麦・⑥麦わら・⑦いちじく・⑧いちご・⑨きゅうり・⑩かぶ・⑪白菜・⑫小松菜・⑬トマト」13回の放射性物質の検査を実施しましたが、農作物からは放射性物質は不検出という結果が出ております。原乳についても、これまでに53回の検査を実施しましたが、暫定規制値以下でした。引き続き、生産者・農協と連携を図り、定期的に農産物の検査を実施してまいります。
10	町内のプール水については検査を実施していますか。	町内の小・中学校から、伊草小学校を選び（6月8日）、検査機関に検査を依頼しました。放射性物質については検出されませんでした。	6月8日以後、伊草小学校を含め、全小中学校のプール水の検査はしていません。

●ハツ保地区 まちづくり懇談会 質問事項と回答要旨と対応結果

	質問事項	回答要旨	行政に反映された事項及び対応結果
1	<p>なぜ若者人口減少は起こるのかについては、現代は、核家族化の弊害により、子育て等をフォローする環境にないと考えられます。また、三保谷・出丸、ハツ保及び小見野地区は、学童保育を設置していないので、教育ボランティアが充実していることから、週に3日程度、夜7時頃まで子どもを預かってくれる環境を整備してほしい。親が安心して生活できれば、人口減少の抑制につながると思います。町の考えを聞かせてください。</p> <p>また、空き教室も相当あると思われるので有効に活用してください。</p>	<p>各地区に正規の学童保育ではなくても実施できればよいと思います。それには教育ボランティアをもう少し育成することが必要と思われるので今後検討していきたいと思います。</p> <p>現在、中山と伊草地区に学童保育があり、40名前後の児童が通っています。三保谷、出丸、ハツ保及び小見野の4地区については学童保育はなく、その地区を対象にアンケート調査を実施したところ、4地区で約20名の希望がありました。現在、教育委員会を始め関係各課と学童保育についての検討をしていますが、設備等の問題もありますので、今後さらに検討を進めたいと思います。</p> <p>空き教室については、三保谷、出丸、ハツ保及び小見野の各小学校については、現在ない状況でございます。</p>	<p>平成24年4月9日から、川島幼稚園の空き教室を活用し、三保谷、出丸、ハツ保、小見野の4地区を対象とした学童保育施設が開設されました。NPO法人川島学童保育会が設置運営を行い、現在14名の学童が利用しています。</p> <p>普通教室以外の教室は、特別教室として有効に活用しています。</p>
2	<p>高齢化と人口減少は、全国的な問題であり抑えられないと考えられ、資料にあるように三保谷、出丸、ハツ保、小見野の児童が減少しているが、現状のまま学校を存続させるのか、統廃合等をするのか町の考えを聞かせてください。</p> <p>また、男女共に独身者が多く、出生率の低下が問題視されているが、町では婚活についての事業を実施していないのですか。</p>	<p>ご指摘の問題については承知していますが、今回の総合振興計画の中で、若者の定住をリーディングプロジェクトとして掲げさせていただいたのは、統合を実施する前にできる事ややっていくということで、都市計画法の見直しを行い住家が建てられるようにしていく等、可能なことを実施し、最悪の場合は統合を図ることを検討しなければならないと考えます。現在、都市計画法の見直しの調整を行っているところでございます。</p> <p>現在町では、特に実施していません。以前、社会福祉協議会で実施していましたが、あまり成果が得られていない状況でした。今後は、四市三町で構成している川越都市圏まちづくり協議会で実施する等の検討及び働きかけをしていきたいと思ます。</p> <p>また、川島は鉄道が通っていないことから人口が減少すると言われていますが、現実的には、中山、伊草地区を中心に建売住宅に入居する人も多く、人口は減少しているが、世帯数は増加しています。年間80世帯から100世帯増えており、現在世帯数は7,800世帯余りとなっております。全体の人口としては、高齢者の方が200人以上亡くなる一方、出生者は、140名程度となっているため、その差が人口減少になっています。</p>	<p>婚活事業を平成24年度予算に措置しました。町の観光PRも合わせて行うため、イチゴ刈りやブルーベリー摘み採りなどを合わせた事業を予定しています。また、川越都市圏まちづくり協議会でも婚活事業を予定します。</p>
3	<p>人口が増えるにはそれなりの理由があると考えられますが、川島産業団地には流通業が多いと思われます。町から企業に対して、町内在住者についての雇用のアプローチを行っているのですか。</p>	<p>町のホームページに採用情報等を掲載しています。町としては、町内のかたを一人でも多く採用していただくよう企業に働きかけを行っていきたく思います。</p>	<p>町ホームページ・農政産業課内にハローワーク求人情報を掲示し周知しています。</p>

	質問事項	回答要旨	行政に反映された事項及び対応結果
4	<p>産業団地の企業数社から地元雇用の要請があったということですが雇用形態は正規雇用か臨時雇用か教えてください。</p> <p>今日のテーマは非常に難しい問題であり、全国的に若者が減少していることは承知しております。そのようなことから、町内で雇用ができれば一番良く、保育の充実等を図っていくこと等、継続して事業を実施していくことが重要であると考えます。若者の減少、若者が暮らしやすいまちづくりで必要なのは、各方面で充実を図ることが必要であると考えます。（要望）</p>	<p>臨時雇用が多いと聞いております。</p> <p>企業については、町内の方を採用したい意向があるようですが、思うように入社してくれないという話を企業から聞いています。また、昨今の採用形態については、採用には、臨時社員として採用され、一定の期間を働いた後正規社員となるような企業が多いようです。地元雇用については、今後も企業に要請を行っていくよう努力して参ります。</p>	<p>川島インター産業団地工業会が発足しましたので、工業会事務局と調整を図り、町内の方が多く採用されるよう努めてまいります。</p>
5	<p>区長代理として4月から防犯パトロールを実施しており、その際に帽子とベストを着用して実施するという申し伝えがありました。3ヶ月経過しても物品が届いていない。どういう状況になっているのですか。</p>	<p>防犯パトロールについては、代表区長さんがお答えしたとおり、川島町コミュニティ推進協議会から交付申請がつい先日あったばかりで、購入が遅れてしまったことについては、総務課としても責任を感じております。防犯パトロールについては、昨年度も地域で取り組んでいただいております。ある程度の物資は買い揃えていただいていると認識しております。来年度はもっと早い段階で準備できるよう手配して参りたいと思っております。</p>	<p>地域防犯活動で使用する物資については、川島町コミュニティ推進協議会からの助成制度を活用し整備していただいておりますが、平成23年度には町がのぼり旗4,000枚を購入し支給しておりますので、ご活用ください。</p>
6	<p>小学生の通学路の防犯についての要望について（山ヶ谷戸地内） 交通の面からも防犯の面からも危険な箇所のため、横断歩道を整備してほしい。</p>	<p>警察署に申請してから設置することになるため時間が必要になりますことをご理解いただきたいと思います。防犯の観点については、PTAができることはやっていたらお願いいたします。</p>	<p>東松山警察署に横断歩道設置の申請を行いました。</p>
7	<p>最近、荒廃農地が目立つようになっているが、美化運動の時に、地区で一斉に野焼きデイを設けることはできませんか。</p>	<p>野焼きについては、規制等がありますので、調整を図った中で可能であるか検討して参ります。</p>	<p>野焼きについては、法により原則禁止となっておりますので、苦情等の際に周知を行っています。</p>
8	<p>平日の窓口業務の延長については、どのように考えているか。平日の窓口延長が不可能であれば土曜日だけでも実施していただけないか。</p>	<p>町長の公約事項でもあり定着してきた事業ではありますが、3月11日に発生した大震災以降、電力不足による大規模停電等の危険性もあり、町では対前年度比25%の節電目標を掲げているところでもあります。現状では、電力需要が落ち着く10月1日以降業務延長を実施する予定で考えております。</p>	<p>東日本大震災以降、電力不足による大規模停電等の対応もあり、町では開庁時間の延長を見合わせておりましたが、逼迫していた電力供給が落ちついてきたことから10月1日から業務延長を再開いたしております。</p>

●小見野地区 まちづくり懇談会 質問事項と回答要旨と対応結果

	質問事項	回答要旨	行政に反映された事項及び対応結果
1	<p>①H23年度から第5次総合振興計画が始まっているが、計画段階で町民コメント制度を利用した意見は1件のみであり、審議会とまちづくり協議会も、一般公募の町民参加はまちづくり協議会の5名のみである。これでは町全体のものとは言えないのではないか。もっと町民の意見を取り入れるべきではなかったのか。</p>	<p>町民コメントにおいて、一般の意見が少ないことにつきましては、町民アンケートを実施して統計的に意見の集約と補完を行っております。</p> <p>また、審議会などに一般の方が少ないとのご意見につきまして、協議会、審議会などは条例などの規定に従って委員等を選出しておりますので、それに従った人数となっているものです。なお、まちづくり協議会は、一般公募により5人に委員をお願いしました。</p> <p>総合振興計画は基本構想が10年、基本計画が前期・後期で5年ずつの構成になっており、前期基本計画が終了した時点で、検証を行い、後期を進めていくこととなります。</p> <p>具体的な事業は、それぞれ実施計画を作成しており、3年毎の計画期間で策定し、毎年検証を行って実施しています。</p> <p>このような懇談会の場でも具体的なご意見を伺って、実際の実施計画につなげていきたいと考えております。</p>	<p>審議会や付属機関の見直しを第3次川島町行政改革大綱第3期行動計画に位置付け、定数や職の重複、運営方法などを見直し、広範な人材活用と組織の整理・統合及び審議内容の公開を図ることとして、進行管理を行います。</p>
	<p>平成8年、9年で区長をやらせてもらったが、区長配送に役場職員が2人で来ていた。 宅配業者は1人でやっているの、その当時に1人で十分ではないかと提案したが、現在はどうなっているのか。</p>	<p>現在は基本的には1人で区長配送の対応を行っております。ただし、新人に道を指導するときや荷物が多い時には2人で行っている場合もあります。</p>	<p>毎月の広報配送については、行政区を区分し職員1名で配送業務を行っています。ただし、カレンダーの配布等分量が多く、2名で配布したほうが効率的な場合には2名体制で配布を実施する場合があります。</p>
2	<p>①定住の問題とのことですが、滑川町では、3人目の出産祝い金や学校給食費の無料化をしていますが、そのような思い切った施策が必要ではないのか。</p>	<p>滑川町の人口増加は、つきのわ駅周辺での東武による宅地開発の効果が大きいと聞いております。出産祝い金などは、一時的な性格が強く、効果には疑問があり、もっと継続的な制度の方が良いのではないかと考えております。</p> <p>また、給食費については、現在小中学生の給食費の全てが食材費となり、調理のための光熱水費や人件費などの経費は、全て町の一般会計で賄っており、合計2億円程度の費用がかかっております。</p> <p>滑川町のように民間委託をすると、1食あたり81円安くなり、年間では2,700万円程度節減できる試算となっております。</p> <p>無料化は困難ですが、節減できた経費から、少しでも助成できれば、保護者の方の負担軽減になるのですが、なかなか各方面との調整が進んでいない状況です。</p> <p>この問題については、今後も各方面との協議を重ねていきたいと考えております。</p>	<p><教育総務課> 平成24年度についても、安全でおいしい学校給食を提供すべく、町からの助成を受けずに保護者負担金のみで食材を調達するよう、特別会計予算を編成しました。</p> <p><政策推進課> 給食センターの委託率の向上を第3次川島町行政改革大綱第3期行動計画に位置付け、コストの削減、職員の適正化、施設の管理運営、スケールメリット等を十分に検討し委託を推進するとともに進行管理を行います。</p>

	質問事項	回答要旨	行政に反映された事項及び対応結果
3	<p>下小見野の下流部に住んでいるが、上流部に産業廃棄物の処理施設があり、その処理水が地元の細い河川を通じて、地区内の水路に流れてきている。きちんと処理されていると思うが、時折悪臭が漂うし、その処理水が溜まった鳥羽井沼の水を農業用水として利用していると本当に大丈夫か不安に思っている（公害でも発生したら大変なことになると思う）。</p> <p>町で水路などの泥を何箇所か採取してもらい、重金属など人体に有害な物質がないかどうか定期的に検査してほしい。</p>	<p>悪臭など確認できる事象があれば、県と一緒に改善命令等の指導を行いますので、町民生活課へご連絡をいただきたいと思います。</p> <p>ご質問の件につきましては、持ち帰りまして現地確認等の対応を検討させていただきます。</p>	<p>周辺水路の汚泥の測定を行いました。その結果、質問にある重金属類は検出されませんでした。</p>